資料-1 様式2

令和5年度 五十鈴川水系 流域治水プロジェクト フォローアップ

令和5年度五十鈴川水系流域治水プロジェクトフォローアップ宮崎県
【日向土木事務所】【大項目】区分
【中項目】対策内容
【小項目】対策メニュー1. 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
洪水氾濫対策
「河道掘削・樹木伐採

【概要】

- 〇土砂堆積等による流下阻害で洪水氾濫が生じないよう、樹木伐採や河道掘削を実施した。
- ○次年度以降も、他の河川も含め引き続き実施していく。

R 5 年度五十鈴川 河道掘削実績			
事業費 約1.9億円		河道掘削	約3.8万㎡







宮崎県 【日向土木事務所】 【大項目】区分1. 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策【中項目】対策内容洪水氾濫対策【小項目】対策メニュー令和4年9月台風14号災害対策

【概要】

- ○五十鈴川水系では、令和4年台風14号により河川災が11件発生。
- ○このうち、5件が完成、4件を施工中である。引き続き、早期復旧に努めていく。

五十鈴川(門川町)



五十鈴川(美郷町北郷)

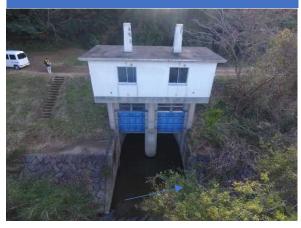


令和5年度五十鈴川水系流域治水プロジェクトフォローアップ宮崎県
【日向土木事務所】【大項目】区分1. 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
洪水氾濫対策【小項目】対策内容洪水氾濫対策【小項目】対策メニュー河川増水による逆流防止対策

【概要】

- ○潜水橋などのアクセス道路が浸水する操作(閉鎖)できない樋門があるため、令和5年度から、 樋門自動閉鎖化の調査・設計に着手した。
- 〇現在、3箇所の設計を実施中であり、令和6年度から工事にも着手予定である。

五十鈴川(門川町)



五十鈴川(門川町)



	【大項目】区分	1. 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
門川町	【中項目】対策内容	洪水氾濫対策
	【小項目】対策メニュー	河道掘削

【概要】

〇西門川の阿仙原川において、堆積している土砂を除去し、河道を掘削することにより、 洪水等が起こらない様に対処した。

R5年度実績			
実施河川数	1河川	樹木伐採	
事業費	約0.5百万円	河道掘削	約50㎡

阿仙原川





阿仙原川



令和5年度 五十鈴川水系流域治水プロジェクト フォローアップ

宮崎県 【日向土木事務所】

【大項目】区分	1. 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
【中項目】対策内容	土砂災害対策
【小項目】対策メニュー	砂防関係施設の整備

【概要】

土砂や流木の流出及び急傾斜地の崩壊による土砂災害を防止するため、砂防堰堤及び急傾斜地崩壊対策施設の整備を進める。

R 5 年度実績					
砂防 3渓流 急傾斜 2箇所					





	【大項目】区分	1. 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
美郷町	【中項目】対策内容	流域の雨水貯留機能の向上
	【小項目】対策メニュー	用水路整備

【概要】

〇洪水氾濫を減らすため、用水路を整備し流水の貯留機能の拡大を実施した。

R 5 年度実績					
実施箇所数 3箇所 整備延長 93m					
事業費 約3.0百円					







令和5年度五十鈴川水系流域治水プロジェクトフォローアップ【大項目】区分1. 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策【中項目】対策内容流域の雨水貯留機能の向上【小項目】対策メニュー直接支払制度を活用した維持管理による被害の軽減

【概要】

用排水路や農道の適正な維持管理、周辺林地の管理、水田が持つ雨水貯留機能の向上により、周辺地域の被害の軽減を図った。

日本型直接支払制度	協定数
中山間地域等直接支払制度	4 0
多面的機能支払制度	3 4
計	7 4







	【大項目】区分	1. 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
美郷町	【中項目】対策内容	流域の雨水貯留機能の向上
	【小項目】対策メニュー	再造林、保育(除間伐等)

【概要】

再造林、保育(除間伐等)の推進により、森林資源を造成し、土砂流出防止機能や保水機能の確保、 向上を図った。

森林整備状況(令和5年度予定)

事業区分	事業内容	面積
森林整備	新植	1 9 8 ha
林怀罡佣	除間伐	1 8 ha
	計	2 1 6 ha

美郷町の森林面積 : 40,164ha

うち民有林面積 : 39,100ha







令和5年度 五十鈴川水系流域治水プロジェクト フォローアップ

宮崎県 【東臼杵農林振興局】 【大項目】区分

1. 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

【中項目】対策内容

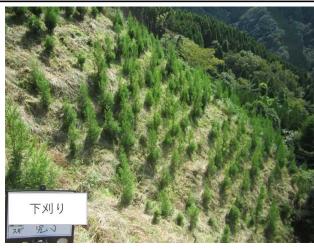
流域の雨水貯留機能の向上

【小項目】対策メニュー

- 森林整備(再造林、下刈り、間伐等)

- ○河川上流域の民有林では、防災・保水機能を発揮させる森林整備に取り組む。
- ○適切な再造林や保育(下刈り、間伐等)により、下層植生の繁茂や根系発達を促進し、表土の流出抑制や、 保水能力の向上、雨水流下速度の緩和等を図り、水源かん養機能や洪水緩和機能を発揮させる。





森林整備事業の取組状況(令和4年度実績:日向市、門川町、美郷町、諸塚村、椎葉村) ①再造林:571ha ②下刈り:3,036ha ③除間伐:752ha

森林整	備わ	ンク	_

【大項目】区分 1. 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

【中項目】対策内容

流域の雨水貯留機能の向上

【小項目】対策メニュー

水源林造成事業

- ・水源林造成事業は、奥地水源地域の民有保安林のうち、所有者の自助努力等によっては適正な整備が見込めない箇所において、針広混交林等の森林を整備することにより、森林の有する公益的機能の高度発揮を図る事業です。
- ・水源林造成事業地において除間伐等の森林整備を計画的に実施することで、樹木の成長や下層植生の繁茂を促し、森林土壌等の保水力の強化や土砂流出量の抑制を図り、流域治水を強化促進します。

令和 5 年度実績					
植栽 下刈 除伐 間伐 作業道					
26ha 23ha 30ha 30ha 870m					

森林整備実施イメージ







間伐実施後

令和5年度	五十鈴川水系流域治水プロジェクト フォローアップ			
宮崎県 【日向土木事務所】	【大項目】区分	2. 被害対象を減少させるための対策		
	【中項目】対策内容	まちづくりでの活用を視野にした土地の水災害情報の充実		
	【小項目】対策メニュー	土砂災害警戒区域等の指定による土砂災害リスク情報の充実化		

【概要】

- 〇土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対策の推進に関する法律(土砂災害防止法)に基づき、現在、 2巡目の基礎調査を実施しており、土地の改変等が確認された箇所については、順次指定箇所の見直し 等を行っていく。
- 〇指定箇所については、県HPで公表するとともに、市町村に情報提供を行い、ハザードマップへの反映を依頼



県HPで土砂災害警戒区域等マップを公表 HP:www.sabomap/miyazaki



公表されている公示図書の一部

宮崎県 【日向土木事務所】	【大項目】区分	3. 被害の軽減、早期復旧、復興のための対策
	【中項目】対策内容	避難態勢等の強化
EMI-322/14-33/7/2	【小項目】対策メニュー	防災の日、防災週間における防災啓発

【概要】

毎年6月の土砂災害防止月間を中心に、防災意識の啓発を図るため、小中学生を対象とした「土砂災害防止教室」を開催している。

R5年度実績				
実施校数 1校 参加生徒数 55人				





令和5年度 五十鈴川水系流域治水プロジェクト フォローアップ

宮崎県 【東臼杵農林振興局】 【大項目】区分

3. 被害の軽減、早期復旧、復興のための対策

【中項目】対策内容 土地の水災害リスク情報の充実

【小項目】対策メニュー

河川パトロールによる水災害リスク情報の把握

○ 土地改良区が管理する樋門等の土地改良施設において、維持管理状況を県・市町・土地改良区 の三者で確認し、適正管理の啓発を実施。

県・市・土地改良区による適正管理の啓発



五十鈴土地改良区 (五十鈴川)



百町原土地改良区 (石並川)

宮崎県 【危機管理課】

【大項目】区分

3. 被害の軽減、早期復旧、復興のための対策

【中項目】対策内容

避難態勢等の強化

【小項目】対策メニュー

防災情報の共有

- 宮崎県防災情報共有システム=SIP4D利活用システム
- ※SIP4Dとは、多数の組織から異なる形式で発信される様々な情報を、集約・加工・変換して提供する基盤的 防災情報流通ネットワーク



資料-1 様式2

令和5年度 塩見川水系 流域治水プロジェクト フォローアップ

令和5年度塩見川水系流域治水プロジェクトフォローアップ宮崎県
【日向土木事務所】【大項目】区分
【中項目】対策内容
【小項目】対策メニュー1. 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
洪水氾濫対策
「河道掘削・樹木伐採

【概要】

- 〇土砂堆積等による流下阻害で洪水氾濫が生じないよう、樹木伐採や河道掘削を実施した。
- ○次年度以降も、他の河川も含め引き続き実施していく。

R5年度塩見川水系 河道掘削実績				
事業費	約19百万円	河道掘削	約1.2千㎡	







日向市
【建設課】

【大項目】区分 1. 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策 【中項目】対策内容 洪水氾濫対策 【小項目】対策メニュー 河道に支障となる草木や堆積土砂等の除去

〇河川パトロールにおいて、河道に支障となる草木等があれば、水災害のリスクを未然に防ぐため、撤去を 行う。

【実施河川】▼塩見川水系油蝉川











令和5年度

塩見川水系流域治水プロジェクト フォローアップ

日向市 【消防本部警防課】

【大項目】区分 1. 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策 【中項目】対策内容

洪水氾濫対策

【小項目】対策メニュ・

消防ポンプ車で内水を汲み上げ河川に放流



(概要)

大雨時、内水氾濫に備え、消防ポンプ 車の吸管で、内水に溜まった雨水を汲 み上げ、河川に放流する体制を整え る。

(目的)

河川の水位が内水よりも高い場合、水 門を閉鎖せざるを得ず、溜まった雨水 などの内水を、河川に放流し水位の上 昇を防ぐ。

(効果)

消防ポンプ車で内水を汲み上げ、河川 に放流し内水の水位を下げることで、 住民の安心、安全を確保する。

日向市 【下水道課】

【大項目】区分

1. 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

【中項目】対策内容

洪水氾濫対策

【小項目】対策メニュー

仮設排水ポンプの設置

○近年の異常気象による台 風の増加、ゲリラ豪雨に よる市街地の浸水被害に 早急に対応するため、排 水用ポンプを設置するこ とで、中原地区における 浸水被害の軽減を図る。

> 異常気象による浸水被 害が想定される場合に、 高見橋周辺に排水ポンプ を設置し、必要に応じて 排水作業を行う。



令和5年度 塩見川水系流域治水プロジェクト フォローアップ

宮崎県 【日向土木事務所】 【大項目】区分 1. 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策 【中項目】対策内容 土砂災害対策

【小項目】対策メニュー 砂防関係施設の整備

【概要】

土砂や流木の流出及び急傾斜地の崩壊による土砂災害を防止するため、砂防堰堤及び急傾斜地崩壊対策施設の整備を進める。

R 5 年度実績					
砂防 1渓流 急傾斜 3箇所					





宮崎県
【東臼杵農林振興局】

【大項目】区分

1. 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

【中項目】対策内容

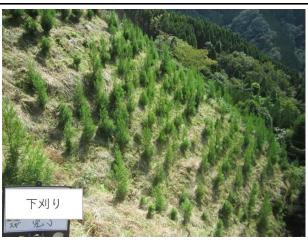
流域の雨水貯留機能の向上

【小項目】対策メニュー

森林整備(再造林、下刈り、間伐等)

- 〇河川上流域の民有林では、防災・保水機能を発揮させる森林整備に取り組む。
- 〇適切な再造林や保育(下刈り、間伐等)により、下層植生の繁茂や根系発達を促進し、表土の流出抑制や、 保水能力の向上、雨水流下速度の緩和等を図り、水源かん養機能や洪水緩和機能を発揮させる。





森林整備事業の取組状況(令和4年度実績:日向市、門川町、美郷町、諸塚村、椎葉村) ①再造林:571ha ②下刈り:3,036ha ③除間伐:752ha

令和5年度 塩見川水系流域治水プロジェクト フォローアップ 【大項目】区分 1. 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策 日向市 【中項目】対策内容 流域の雨水貯留機能の向上 【林業水産課】 【小項目】対策メニュー 森林整備(造林・間伐・一貫施業)

【概要】

森林の有する土砂流出防止機能や水源涵養機能、洪水緩和機能等を適切に発揮させるため、間伐や 再造林等の適切な森林整備・保全を行った。

【効果】

- 〇伐採から定植までを行う『一貫施業』を推進し、伐採後の荒廃地の防止を図った。
- ○間伐を促進し、山林の保水能力を高め、斜面崩壊の低減や土砂流出の防止を図った。

【令和5年度実績】

造林面積: 44.96ha 間伐面積:67.29ha



森林整備センター	【大項目】区分	1. 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
	【中項目】対策内容	流域の雨水貯留機能の向上
	【小項目】対策メニュー	水源林造成事業

- ・水源林造成事業は、奥地水源地域の民有保安林のうち、所有者の自助努力等によっては適正な整備が見 込めない箇所において、針広混交林等の森林を整備することにより、森林の有する公益的機能の高度発 揮を図る事業です。
- ・水源林造成事業地において除間伐等の森林整備を計画的に実施することで、樹木の成長や下層植生の繁 茂を促し、森林土壌等の保水力の強化や土砂流出量の抑制を図り、流域治水を強化促進します。

令和 5 年度実績				
植栽 下刈り 除伐 間伐 作業道				
42ha				





間伐実施前



間伐実施後

令和5年度塩見川水系流域治水プロジェクトフォローアップ日向市
【消防本部警防課】【中項目】対策内容まちづくりでの活用を視野にした土地の水災害情報の



【小項目】対策メニュー

(概要)

河川水位の定期的な監視

ライフジャケットを着装し、安全帯の カラビナを手すりに決着するなど、安 全に配慮しながら、河川水位を定期的 に監視する。

(目的)

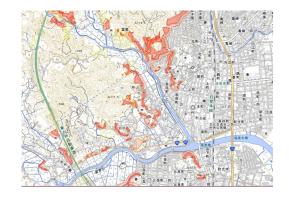
水門監視受託者である消防団は、常 に、危険を伴いながら河川を監視し、 水位の情報を早期に住民に知らせる。 (効果)

住民の生命、身体及び財産を水害から 守る。

宮崎県 【日向土木事務所】	【大項目】区分	2. 被害対象を減少させるための対策
	【中項目】対策内容	まちづくりでの活用を視野にした土地の水災害情報の充実
THI-322/17	【小項目】対策メニュー	土砂災害警戒区域等の指定による土砂災害リスク情報の充実化

【概要】

- 〇土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対策の推進に関する法律(土砂災害防止法)に基づき、現在、 2巡目の基礎調査を実施しており、土地の改変等が確認された箇所については、順次指定箇所の見直し 等を行っていく。
- 〇指定箇所については、県HPで公表するとともに、市町村に情報提供を行い、ハザードマップへの反映を依頼



県HPで土砂災害警戒区域等マップを公表 HP:www.sabomap/miyazaki



公表されている公示図書の一部

令和5年度 塩見川水系流域治水プロジェクト フォローアップ

日向市 【建設課】 【大項目】区分

3. 被害の軽減、早期復旧、復興のための対策

【中項目】対策内容

土地の水災害リスク情報の充実

【小項目】対策メニュー 河川パトロールによる災害リスク情報の把握

○普通河川のパトロールについては、水災害によるリスクの軽減を図り、情報を把握するため、年1回の通常 点検、異常気象時や全国的な課題や国・県からの指導等に応じて実施する緊急点検を行っている。

普通河川点検内容一覧

ランク 本数		延長	延長	
729	平奴	(km)	頻度	時期
A (重要)	43	71. 9	年1回	出水期前(5月下旬~6月上旬)
B (準重要)	40	50.8	年1回	台風接近時期前(6月~8月)
C (その他)	38	66. 2	年1回	年間を通じて(9月~3月)
計	121	188. 9		

【対象河川】▼塩見川水系の普通河川(東川ほか7河川)





日向市 【防災推進課】

【大項目】区分

3. 被害の軽減、早期復旧、復興のための対策

【中項目】対策内容

避難体制等の強化

【小項目】対策メニュー

ハザードマップを活用した啓発、防災訓練の支援



地域での防災講話の様子 (高齢者クラブ)

【目的】

土砂災害や浸水のおそれのある区域や避難場所 等をハザードマップで確認し、早期避難のための 意識啓発を行う。

【対象】

小中高生、自主防災会、企業、地域団体等

【概要】

大雨による土砂災害発生のメカニズムや浸水想 定区域、日ごろの備えや早期避難について説明を 行い、実際にハザードマップで危険箇所の確認及 び避難場所等の確認を行った。

【効果】

近年の大雨の状況や、危険箇所を確認すること により早期避難の重要性を考える機会となった。

令和5年度 塩見川水系流域治水プロジェクト フォローアップ

宮崎県 【日向土木事務所】 【大項目】区分 3. 被害の軽減、早期復旧、復興のための対策

【中項目】対策内容 避難態勢等の強化

【小項目】対策メニュー 防災の日、防災週間における防災啓発

【概要】

毎年6月の土砂災害防止月間を中心に、防災意識の啓発を図るため、小中学生を対象とした「土砂災害防止教室」を開催している。

R 5 年度実績				
実施校数	40人			





宮崎県 【危機管理課】

 【大項目】区分
 3.被害の軽減、早期復旧、復興のための対策

 【中項目】対策内容
 避難態勢等の強化

【小項目】対策メニュー 防災情報の共有

宮崎県防災情報共有システム=SIP4D利活用システム

※SIP4Dとは、多数の組織から異なる形式で発信される様々な情報を、集約・加工・変換して提供する基盤的 防災情報流通ネットワーク



資料-1 様式2

令和5年度 耳川水系 流域治水プロジェクト フォローアップ

令和5年度 耳川水系流域治水プロジェクト フォローアップ 宮崎県 【日向土木事務所】 【大項目】区分 1. 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策 【中項目】対策内容 洪水氾濫対策 【小項目】対策メニュー 河道掘削

【概要】

- 〇土砂堆積等による流下阻害で洪水氾濫が生じないよう、樹木伐採や河道掘削を実施した。
- ○次年度以降も、他の河川も含め引き続き実施していく。

R5年度耳川水系 河道掘削実績				
事業費 約3.9億円		河道掘削	約5.0万㎡	

耳川 (小野田地区)







宮崎県 【日向土木事務所】	【大項目】区分	1. 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
	【中項目】対策内容	洪水氾濫対策
	【小項目】対策メニュー	福瀬大橋橋梁架替、幸脇地区宅地嵩上げ工事

【概要】

- 〇耳川福瀬大橋の架替を、令和4年に工事着手し、下部工施工中。
- ○幸脇地区において宅地嵩上げ工事が概成。

耳川 福瀬大橋橋梁架替



耳川 幸脇地区



令和5年度	耳川水系流域治水プ	ロジェクト フォローアップ
京藤旧	【大項目】区分	1. 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
宮崎県 【日向土木事務所】	【中項目】対策内容	洪水氾濫対策
	【小項目】対策メニュー	令和4年9月台風14号災害対策

【概要】

- 〇耳川水系では、令和4年台風14号により河川災が51件発生。
- 〇このうち、令和5年度までに17件が完成。引き続き早期復旧に努めていく。

美郷町西郷 鳥の巣地区



日向市東郷 切瀬地区



宮崎県 【日向土木事務所】	【大項目】区分	1. 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
	【中項目】対策内容	洪水氾濫対策
	【小項目】対策メニュー	内水被害の軽減や拡大防止

【概要】

〇本川掘削による外水位を低下に加えて、内水地区から排水しやすくするために、支川の堆積 土砂除去を実施。引き続き、堆積状況を見ながら掘削工事を行っていく。

R5年度耳川水系 河道掘削実績				
事業費 約3.9億円 河道掘削 約5.0万㎡				

間溝川 (出口地区)



令和5年度	耳川水系流域治水プ	ロジェクト フォローアップ
	【大項目】区分	1. 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
美郷町	【中項目】対策内容	洪水氾濫対策
	【小項目】対策メニュー	護岸復旧

【概要】

○河川の氾濫により被害が生じないようブロック護岸で復旧を実施した。

R5年度実績					
実施河川数 1 河川 樹木伐採					
事業費	護岸復旧	276.0m			







宮崎県
【日向土木事務所】

【大項目】区分	1. 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
【中項目】対策内容	土砂災害対策
【小項目】対策メニュー	砂防関係施設の整備

【概要】

土砂や流木の流出及び急傾斜地の崩壊による土砂災害を防止するため、砂防堰堤及び急傾斜地崩壊対策施設の整備を進める。

R 5 年度実績				
砂防 4渓流 急傾斜 4箇所				





令和5年度	耳川水系流域治水プ	ロジェクト フォローアップ
	【大項目】区分	1. 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
九州電力	【中項目】対策内容	流水の貯留機能の拡大
	【小項目】対策メニュー	利水ダムにおける事前放流の実施

○令和5年度については、治水協定を踏まえたダム操作規程に基づき、適正な事前放流操作を1回実施した。 ○今後も引続き、安全なダム放流操作に取り組んでいく。

令和5年8月台風6号における事前放流対応実績一覧表

ダム	基準降雨量	事前放流			
УA	(降雨継続時間)	実施態勢入り	事前放流開始	事前放流終了	実施態勢解除
上椎葉	184mm		基準降雨量	以下のため	
工作未	(6h)		事前放	流なし	
岩屋戸	181mm		7日18時30分	8日 7時00分	
11/12/	(6h)		1月10時30万	8년 7년00기	
塚原	249mm		6日15時30分	9日 1時30分	
751/35	(9h)		0月12時30万	3H TM-2011	
諸塚	211mm	3日 8時09分	6日12時20分	7日 2時50分	11日 6時56分
0040	(6h)	3년 아랍아의까	0 H 1 Z H 7 C) J	7 H ZH4207J	11口 014307
山須原	306mm		6日 9時50分	6日13時40分	
山灰冰	(12h)		0日 3時302	0日13時40万	
西郷	311mm		6 D 00±504	6日12吐10人	
	(12h)		6日 9時50分	6日13時10分	
大内原	314mm		5日22時00公	6日12時00公	
八十九木	(12h)		5日23時00分	6日13時00分	

	【大項目】区分	1. 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
美郷町	【中項目】対策内容	雨水貯留機能の強化
	【小項目】対策メニュー	直接支払制度を活用した維持管理による被害の軽減

【概要】

用排水路や農道の適正な維持管理、周辺林地の管理、水田が持つ雨水貯留機能の向上により、周辺地域の被害の軽減を図った。

日本型直接支払制度	協定数
中山間地域等直接支払制度	4 0
多面的機能支払制度	3 4
計	7 4







令和5年度	耳川水系流域治水プ	ロジェクト フォローアップ
日向市 【林業水産課】	【大項目】区分	1. 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
	【中項目】対策内容	流域の雨水貯留機能の向上
	【小項目】対策メニュー	森林整備(造林・間伐・一貫施業)

【概要】

森林の有する土砂流出防止機能や水源涵養機能、洪水緩和機能等を適切に発揮させるため、間伐や 再造林等の適切な森林整備・保全を行った。

【効果】

- 〇伐採から定植までを行う『一貫施業』を推進し、伐採後の荒廃地の防止を図った。
- ○間伐を促進し、山林の保水能力を高め、斜面崩壊の低減や土砂流出の防止を図った。

【令和5年度実績】

造林面積: 44.96ha 間伐面積: 67.29ha



	【大項目】区分	1. 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	
美郷町	【中項目】対策内容	森林整備事業	
	【小項目】対策メニュー	再造林、保育(除間伐等)	

【概要】

再造林、保育(除間伐等)の推進により、森林資源を造成し、土砂流出防止機能や保水機能の確保、 向上を図った。

森林整備状況(令和5年度予定)

事業区分	事業内容	面積	
森林整備	新植	1 9 8 ha	
林州造湘	除間伐	1 8 ha	
	計	2 1 6 ha	

美郷町の森林面積 : 40,164ha

うち民有林面積 : 39,100ha







令和5年度 耳川水系流域治水プロジェクト フォローアップ 【大項目】区分 1. 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策 【中項目】対策内容 流域の雨水貯水機能の向上 【小項目】対策メニュー 森林整備(下刈り、間伐等)

〇森林が持つ水源涵養機能等を発揮させるため、計画的に間伐や下刈り等の適切な森林整備を実施し、土砂流出量の抑制や保水機能の向上を図った。



間伐作業

下刈り作業



植付作業

	【大項目】区分	1. 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
椎葉村	【中項目】対策内容	流域の雨水貯留機能の向上
	【小項目】対策メニュー	造林事業、間伐促進事業、治山堰堤事業 等

【概要】

○林地崩壊防止、雨水貯留機能向上のために造林・間伐・治山事業を実施した。

R5年度実績					
造林·保育事業 578.3ha 治山事業 1箇所					
事業費	15,993千円	事業費	9,876千円		



保育(下刈)施業



保育(間伐)施業



治山事業(流木等撤去)

令和5年度 耳川水系流域治水プロジェクト フォローアップ

宮崎県 【東臼杵農林振興局】 【大項目】区分

1. 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

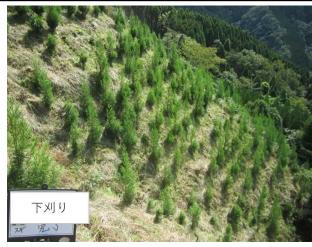
【中項目】対策内容 流域の雨水貯留機能の向上

【小項目】対策メニュー

- 森林整備(再造林、下刈り、間伐等)

- 〇河川上流域の民有林では、防災・保水機能を発揮させる森林整備に取り組む。
- ○適切な再造林や保育(下刈り、間伐等)により、下層植生の繁茂や根系発達を促進し、表土の流出抑制や、 保水能力の向上、雨水流下速度の緩和等を図り、水源かん養機能や洪水緩和機能を発揮させる。





森林整備事業の取組状況(令和4年度実績:日向市、門川町、美郷町、諸塚村、椎葉村) ①再造林: 571ha ②下刈り: 3, 036ha ③除間伐: 752ha

宮崎県
【東臼杵農林振興局】

【大項目】区分 【中項目】対策内容 1. 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

流域の雨水貯留機能の向上

【小項目】対策メニュー 治山事業 (治山ダム・山腹工等)

○林地荒廃防止、災害復旧のため地すべり対策工・山腹工を実施した。

R5年度実績			
工種	箇所数	事業費(千円)	
山腹工	1箇所	95,970	
地すべり対策	1箇所	124,648	





令和5年度	耳川水系流域治水プ	ロジェクト フォローアップ
	【大項目】区分	1. 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
宮崎北部森林管理署	【中項目】対策内容	流域の雨水貯留機能の向上
	【小項目】対策メニュー	山腹工

【概要】

〇土砂流出軽減のため、山腹工を設置した。

R5年度実績

実施数1箇所事業費約0.9億円





宮崎北部森林管理署	【大項目】区分	1. 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
	【中項目】対策内容	流域の雨水貯留機能の向上
	【小項目】対策メニュー	森林の保全・整備

【概要】

〇土砂流出軽減のため、森林整備事業(間伐・下刈)を実施した。

R5年度実績

実施数 171ha 事業費 約1.1億円







令和5年度 耳川水系流域治水プロジェクト フォローアップ

森林整備センター

【大項目】区分 1. 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

【中項目】対策内容 流域の雨水貯留機能の向上

【小項目】対策メニュー水源林造成事業

- ・水源林造成事業は、奥地水源地域の民有保安林のうち、所有者の自助努力等によっては適正な整備が見 込めない箇所において、針広混交林等の森林を整備することにより、森林の有する公益的機能の高度発 揮を図る事業です。
- ・水源林造成事業地において除間伐等の森林整備を計画的に実施することで、樹木の成長や下層植生の繁茂を促し、森林土壌等の保水力の強化や土砂流出量の抑制を図り、流域治水を強化促進します。

令和 5 年度実績				
植栽 下刈 除伐 間伐 作業道				
9ha	162ha	83ha	69ha	5,625m





間伐実施前



間伐実施後

宮崎県 【日向土木事務所】

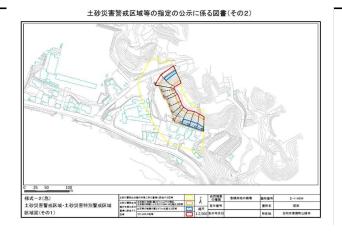
【大項目】区分	2. 被害対象を減少させるための対策
【中項目】対策内容	まちづくりでの活用を視野にした土地の水災害情報の
【小項目】対策メニュー	土砂災害警戒区域等の指定による土砂災害リスク情報

【概要】

- 〇土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対策の推進に関する法律(土砂災害防止法)に基づき、現在、 2巡目の基礎調査を実施しており、土地の改変等が確認された箇所については、順次指定箇所の見直し 等を行っていく。
- 〇指定箇所については、県HPで公表するとともに、市町村に情報提供を行い、ハザードマップへの反映を依頼



県HPで土砂災害警戒区域等マップを公表 HP:www.sabomap/miyazaki



公表されている公示図書の一部

令和5年度 耳川水系流域治水プロジェクト フォローアップ

日向市 【建設課】 【大項目】区分

3. 被害の軽減、早期復旧、復興のための対策

【中項目】対策内容

土地の水災害リスク情報の充実

【小項目】対策メニュー 河川パトロールによる災害リスク情報の把握

〇普通河川のパトロールについては、水災害によるリスクの軽減を図り、情報を把握するため、年1回の通常 点検、異常気象時や全国的な課題や国・県からの指導等に応じて実施する緊急点検を行っている。

普通河川点検内容一覧

ランク 本数		延長		点検方法		
729	平刻	(km)	頻度	時期		
A (重要)	43	71. 9	年1回	出水期前(5月下旬~6月上旬)		
B (準重要)	40	50.8	年1回	台風接近時期前(6月~8月)		
C (その他)	38	66. 2	年1回	年間を通じて(9月~3月)		
計	121	188. 9				

【対象河川】▼耳川水系の普通河川(千鳥川ほか25河川)





日向市 【防災推進課】

【大項目】区分

3. 被害の軽減、早期復旧、復興のための対策

【中項目】対策内容 避難体制等の強化

ハザードマップを活用した啓発、防災訓練の支援 【小項目】対策メニュー



土砂災害を対象とした防災教室の様子(東郷学園)

【目的】

土砂災害や浸水のおそれのある区域や避難場所 等をハザードマップで確認し、早期避難のための 意識啓発を行う。

【対象】

小中高生、自主防災会、企業、地域団体等

【概要】

大雨による土砂災害発生のメカニズムや浸水想 定区域、日ごろの備えや早期避難について説明を 行い、実際にハザードマップで危険箇所の確認及 び避難場所等の確認を行った。

【効果】

近年の大雨の状況や、危険箇所を確認すること により早期避難の重要性を考える機会となった。

令和5年度 耳川水系流域治水プロジェクト フォローアップ

宮崎県 【日向土木事務所】 【大項目】区分 3. 被害の軽減、早期復旧、復興のための対策

【中項目】対策内容 防災学習・避難体制の強化

【小項目】対策メニュー 防災の日、防災週間における防災啓発

【概要】

毎年6月の土砂災害防止月間を中心に、防災意識の啓発を図るため、小中学生を対象とした「土砂災害防止教室」を開催している。

R 5 年度実績			
実施校数	4校	参加生徒数	104人







宮崎県 【危機管理課】

【大項目】区分3.被害の軽減、早期復旧、復興のための対策【中項目】対策内容避難態勢等の強化【小項目】対策メニュー防災情報の共有

宮崎県防災情報共有システム=SIP4D利活用システム

※SIP4Dとは、多数の組織から異なる形式で発信される様々な情報を、集約・加工・変換して提供する基盤的防災情報流通ネットワーク



資料-1 様式2

令和5年度 その他水系 流域治水プロジェクト フォローアップ

令和5年度その他水系流域治水プロジェクトフォローアップ宮崎県
【日向土木事務所】【大項目】区分
【中項目】対策内容
【小項目】対策メニュー1. 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
洪水氾濫対策
「河道掘削

【概要】

- 〇土砂堆積等による流下阻害で洪水氾濫が生じないよう、樹木伐採や河道掘削を実施した。
- 〇次年度以降も、他の河川も含め引き続き実施していく。

R5年度その他水系ほか 河道掘削実績			
事業費	約50百万円	河道掘削	約7千㎡

小丸川 (米上地区)





	【大項目】区分	1. 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
門川町	【中項目】対策内容	洪水氾濫対策
	【小項目】対策メニュー	河道に支障となる草木や堆積土砂等の除去

【概要】

〇土砂堆積等による流下阻害で洪水氾濫が生じないよう、河道掘削を実施した。

R5年度実績			
実施河川数	1河川	樹木伐採	
事業費	約1.5百万円	河道掘削	約150㎡

船越川







令和5年度 その他水系流域治水プロジェクト フォローアップ

宮崎県 【東臼杵農林振興局】 【大項目】区分

1. 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

【中項目】対策内容

流域の雨水貯留機能の向上

【小項目】対策メニュー

- 森林整備(再造林、下刈り、間伐等)

- 〇河川上流域の民有林では、防災・保水機能を発揮させる森林整備に取り組む。
- ○適切な再造林や保育(下刈り、間伐等)により、下層植生の繁茂や根系発達を促進し、表土の流出抑制や、 保水能力の向上、雨水流下速度の緩和等を図り、水源かん養機能や洪水緩和機能を発揮させる。





森林整備事業の取組状況(令和4年度実績:日向市、門川町、美郷町、諸塚村、椎葉村) ①再造林: 571ha ②下刈り: 3, 036ha ③除間伐: 752ha

宮崎県
【東臼杵農林振興局】

【大項目】区分 【中項目】対策内容 1. 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

流域の雨水貯留機能の向上

【小項目】対策メニュー 治山事業 (治山ダム・山腹工等)

○林地荒廃防止、災害復旧のため治山ダムエ・山腹工等を実施した。

R5年度実績			
工種	箇所数	事業費	
治山タムエ	4箇所	270,322	
山腹工	1箇所	47,789	
管理道	1路線	33,643	





令和5年度	その他水系流域治水	プロジェクト フォローアップ
口中主	【大項目】区分	1. 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
日向市 【林業水産課】	【中項目】対策内容	流域の雨水貯留機能の向上
	【小項目】対策メニュー	森林整備(造林・間伐・一貫施業)

【概要】

森林の有する土砂流出防止機能や水源涵養機能、洪水緩和機能等を適切に発揮させるため、間伐や 再造林等の適切な森林整備・保全を行った。

【効果】

〇伐採から定植までを行う『一貫施業』を推進し、伐採後の荒廃地の防止を図った。

○間伐を促進し、山林の保水能力を高め、斜面崩壊の低減や土砂流出の防止を図った。

【令和5年度実績】

造林面積: 44.96ha 間伐面積: 67.29ha



	【大項目】区分	1. 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	
美郷町	【中項目】対策内容	流域の雨水貯留機能の向上	
	【小項目】対策メニュー	用水路整備	

【概要】

〇洪水氾濫を減らすため、用水路を整備し流水の貯留機能の拡大を実施した。

R 5 年度実績			
実施箇所数 3箇所 整備延長 -			
事業費	約5.3百円		





令和5年度 その他水系流域治水プロジェクト フォローアップ

森林整備センター

【大項目】区分

1. 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

【中項目】対策内容

流域の雨水貯留機能の向上

【小項目】対策メニュー

- 水源林造成事業

- ・水源林造成事業は、奥地水源地域の民有保安林のうち、所有者の自助努力等によっては適正な整備が見 込めない箇所において、針広混交林等の森林を整備することにより、森林の有する公益的機能の高度発 揮を図る事業です。
- ・水源林造成事業地において除間伐等の森林整備を計画的に実施することで、樹木の成長や下層植生の繁茂を促し、森林土壌等の保水力の強化や土砂流出量の抑制を図り、流域治水を強化促進します。

令和 5 年度実績					
植栽 下刈 除伐 間伐 作業道					
21ha 36ha 22ha 14ha 1,323m					









間伐実施後

門川町

【大項目】区分

2. 被害対象を減少させるための対策

【中項目】対策内容

防災・避難体制の強化

【小項目】対策メニュー

福祉施設職員に対するHUG訓練

避難行動要支援者や要配慮者が避難した際に直面する課題や、それに備えてどの様に普段から備えれば良いのかを考えて頂くために、町内の介護・福祉施設等で働く従業員の方々に避難所運営訓練(HUG)を行って頂き、防災意識の啓発に努めて頂いた。



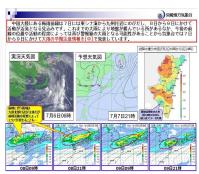
また、兵庫県にある「人と防 災未来センター」より講師にお いでいただき、要配慮者が避難 所へ行く際に注意すべき点等を お話し頂いた。

当日は能登半島地震の直後で あり、報道関係者も多く来られ、 関係者それぞれにとって実りの 多い研修会となった。

令和5年度 その他水系流域治水プロジェクト フォローアップ 【大項目】区分 3.被害の軽減、早期復旧、復興のための対策 宮崎地方気象台 【中項目】対策内容 水災害リスク情報の提供・充実 【小項目】対策メニュー 防災気象情報にかかる勉強会

○ 防災気象情報の利用普及を図る取組みとして、自治体担当者を対象に オンラインツールを活用した勉強会や定時気象解説を実施している。





- オンラインツールを活用した勉強会は、参加者にとっては移動時間がなく有効に時間を使えるため効果的である。
- 効果的な支援に向けた課題:質問しやすい環境づくりやポイントを絞った説明資料づくり、また、トピックス的な内容を盛り込むなどの工夫が必要。

宮崎地方気象台	【大項目】区分	3. 被害の軽減、早期復旧、復興のための対策
	【中項目】対策内容	水災害リスク情報の提供・充実
	【小項目】対策メニュー	台風説明会等の実施

概要

○気象台では、大雨や台風接近時には、メールやホットラインにより注意・警戒を呼び掛けるほか、 台風説明会(報道向け・自治体関係者向け) を実施している。





効果

- ○早い段階からの情報提供により、体制判断や 避難所の開設判断等に活用できる。
- ○危機感や防災意識が高まる。



関係者からは、避難情報の発令や避難所開設の判断を行う上で非常に有益であったと声をいただく一方で・・

課題

- 予測精度の問題もあるが、
 - ・段階的な解説
 - ・解説内容の工夫
 - 過去事例の引用



など危機感を高めるためのさらなる改善が必要

令和5年度 その他水系流域治水プロジェクト フォローアップ

宮崎県 【東臼杵農林振興局】 【大項目】区分3. 被害の軽減、早期復旧、復興のための対策【中項目】対策内容土地の水災害リスク情報の充実

【小項目】対策メニュー 河川パトロールによる水災害リスク情報の把握

○ 土地改良区が管理する樋門等の土地改良施設において、維持管理状況を県・市町・土地改良区 の三者で確認し、適正管理の啓発を実施。

県・市・土地改良区による適正管理の啓発



五十鈴土地改良区 (五十鈴川)



百町原土地改良区 (石並川)

日向市
【建設課】

【大項目】区分3.被害の軽減、早期復旧、復興のための対策【中項目】対策内容土地の水災害リスク情報の充実

【小項目】対策メニュー 河川パトロールによる災害リスク情報の把握

〇普通河川のパトロールについては、水災害によるリスクの軽減を図り、情報を把握するため、年1回の通常 点検、異常気象時や全国的な課題や国・県からの指導等に応じて実施する緊急点検を行っている。

普通河川点検内容一覧

ランク	本数	延長	点検方法	
		(km)	頻度	時期
A (重要)	43	71. 9	年1回	出水期前(5月下旬~6月上旬)
B (準重要)	40	50.8	年1回	台風接近時期前(6月~8月)
C (その他)	38	66. 2	年1回	年間を通じて(9月~3月)
計	121	188.9		

【対象河川】▼その他水系の普通河川(庄手川ほか)





令和5年度 その他水系流域治水プロジェクト フォローアップ

宮崎県 【危機管理課】

【大項目】区分 3. 被害の軽減、早期復旧、復興のための対策

避難態勢等の強化

【小項目】対策メニュー 防災情報の共有

【中項目】対策内容

宮崎県防災情報共有システム=SIP4D利活用システム

※SIP4Dとは、多数の組織から異なる形式で発信される様々な情報を、集約・加工・変換して提供する基盤的 防災情報流通ネットワーク

